

「基礎・基本」定着度調査から鹿児島学習定着度調査への改善

義務教育課

変更していない内容

- 実施時期, 対象学年, 対象教科, 結果の集計・分析の主体
 - ・ 実施時期 毎年1月中旬
 - ・ 対象学年 小学校第5学年, 中学校第1・2学年
 - ・ 対象教科 小学校: 国語, 社会, 算数, 理科
中学校: 国語, 社会, 数学, 理科, 英語
 - ・ 結果の集計・分析の主体 学校, 市町村教育委員会, 教育事務所, 県教育委員会

改善点

	「基礎・基本」定着度調査	鹿児島学習定着度調査
調査内容	<p>学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識や技能を中心に出題 	<p>学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主として「基礎・基本」に関する問題を全体の問題数の7割程度出題 ○ 主として「思考・表現」に関する問題を全体の問題数の3割程度出題 <p>学習状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況について, 質問紙により調査 小学校5年 14項目 中学校1・2年 15項目 ・ 家庭学習に関する状況及び意識の傾向 ・ 学び方についての実態や意識の傾向 ・ 教科指導に対する認識(国語, 社会, 算数・数学, 理科, 英語) ・ 授業の在り方に対する意識の傾向
調査結果の集計	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体の正答数, 誤答数, 無答数, 通過率ごと 	<p>学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「全体」, 「基礎・基本」, 「思考・表現」ごとの正答数, 誤答数, 無答数, 通過率 <p>学習状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設問, 選択肢ごとの回答数, 回答率

